

店舗数増加するも台数および店舗あたりの平均保有台数は減少

アフターコロナへの転換期にリピーター増加、インバウンド利用が好調に推移

「レンタルキャンピングカー白書 2024 ～事業者の現状と市場動向～」調査レポート（要約版）

▶ 調査概要（抜粋）

- ・ レンタルキャンピングカーネット掲載情報、店舗事業者への取材
- ・ レンタルキャンピングカーネット掲載レンタル店舗向けアンケート調査（N=106）
- ・ レンタルキャンピングカー利用経験者へのアンケート調査（N=271） ※その他 Web 上の公開情報、取材を基に調査

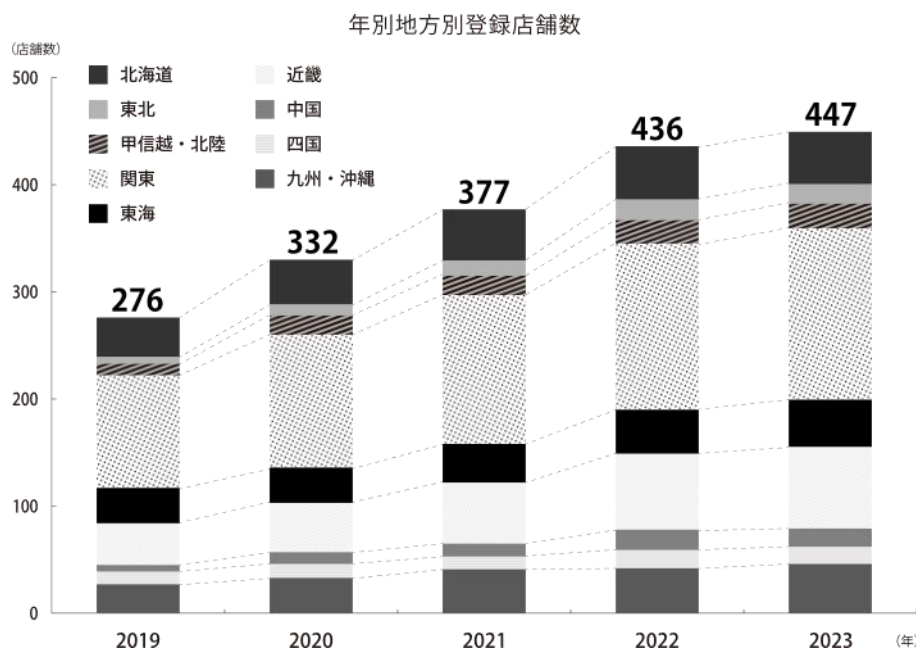
▶ 調査サマリー

- ・ レンタルキャンピングカーネット掲載レンタル店舗数は 2023 年 8 月現在で 447 店舗（前年比 102.5%）、キャンピングカー台数は 1,185 台（同 98.7%）、1 店舗あたりの平均保有台数は 2.7 台（同 96.4%）
- ・ レンタル車両はキャブコン、バンコン以外の割合が増加、多様化が進む（2022 年 15.3%→2023 年 18.5%）
- ・ 平均利用料金の 1 位は「10,000 円～30,000 円未満（25.5%）」、平均利用人数の 1 位は「4 名（27.3%）」、平均利用期間の 1 位は「2 日（1 泊 2 日）（40.6%）」、利用頻度の 1 位は「年に 2・3 回（33.6%）」 ※利用者アンケートより
- ・ ネット予約・決済システムの利用率増加（前回調査 46.8%→60.8%）
- ・ ペット乗車可の車両保有率増加（前回調査 56.0%→71.0%）
- ・ インバウンド対応率は 36.4%、インバウンド集客の割合 11%以上の事業者数が大幅に増加（前回調査 6.9%→35.9%）
- ・ 利用者の宿泊（仮眠）場所が多様化、オートキャンプ場の割合が減少（前回調査 86.7%→55.8%）

レンタルキャンピングカーネット事務局（運営：アイビル株式会社）は、2018 年より隔年で発行しているレンタルキャンピングカー業界の調査レポート「レンタルキャンピングカー白書」（2018 年は「レンタルキャンピングカーの市場動向」として発行）の 2024 年版を発表しました。

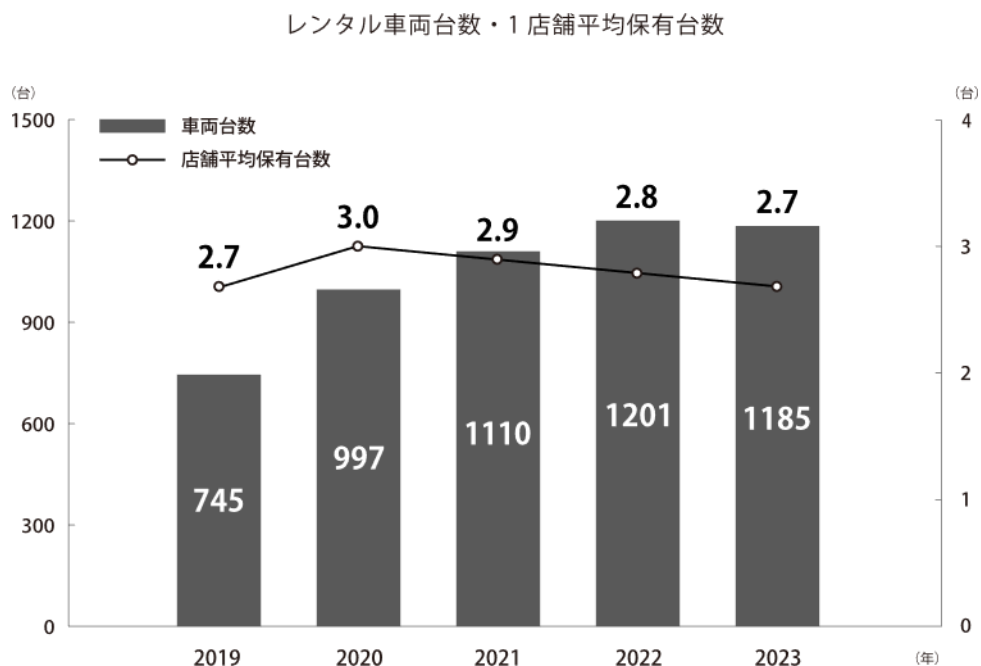
① 直近 2 年間の掲載店舗数は微増

掲載店舗数は増加傾向を維持しています。直近 2 年間は、店舗網を大幅に縮小した店舗やフランチャイザーがあったため、増加率が低下しています。



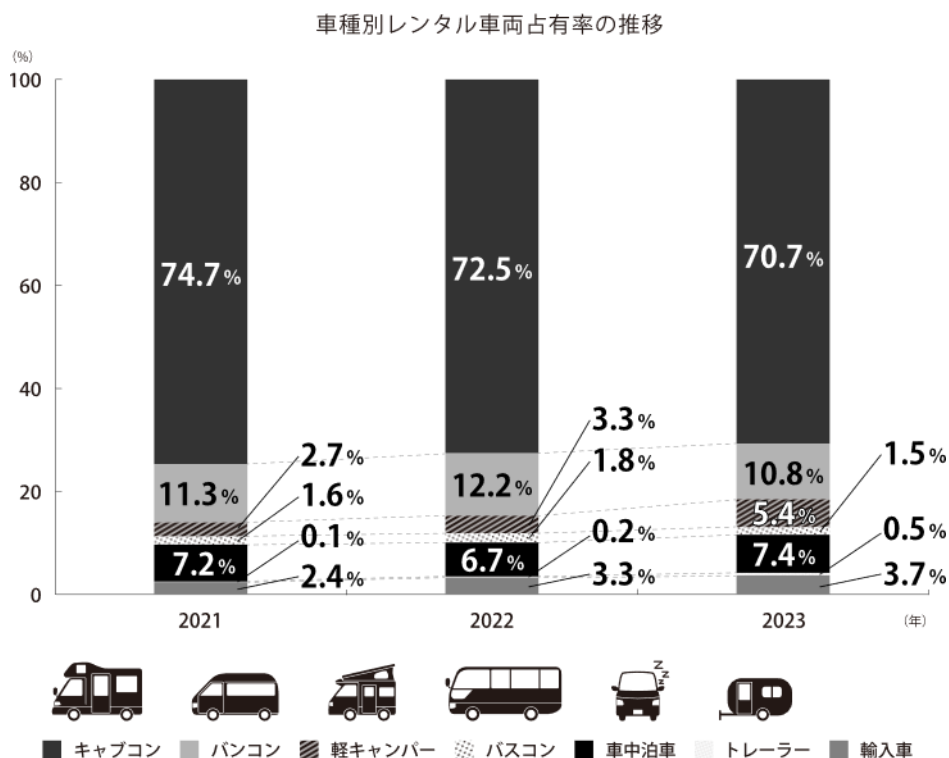
② 保有台数、店舗平均保有台数ともに減少

保有台数の多い店舗が事業撤退したことにより、レンタル車両台数と1店舗当たりの保有台数が減少しています。車両台数が減少したのは、調査開始以来、初めての結果となりました。



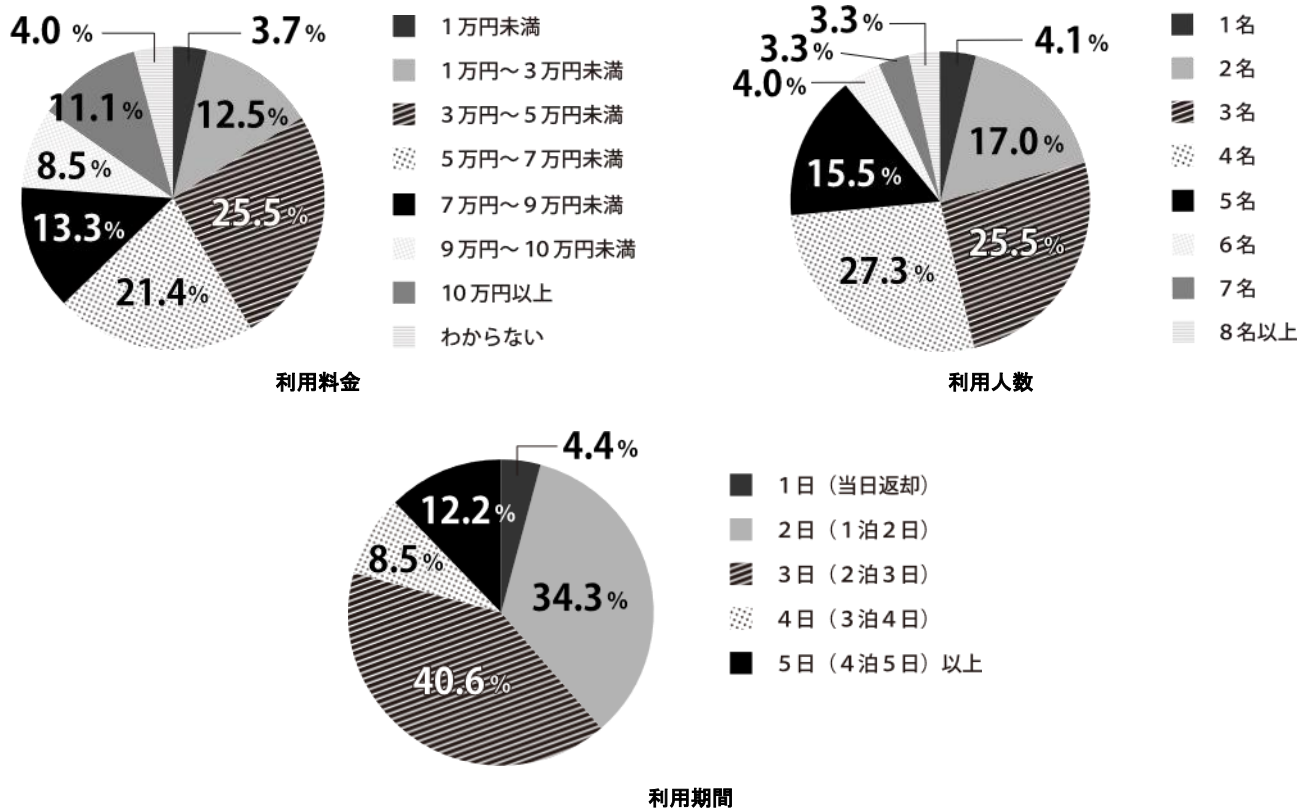
③ レンタルできる車種のバリエーションが増えている

軽キャンパー、車中泊車、輸入車の割合が増えて、車種のバリエーションが増えています。特に軽キャンパーは、2021年に販売開始した特定の車両がレンタルのシェアを大きく伸ばしています。



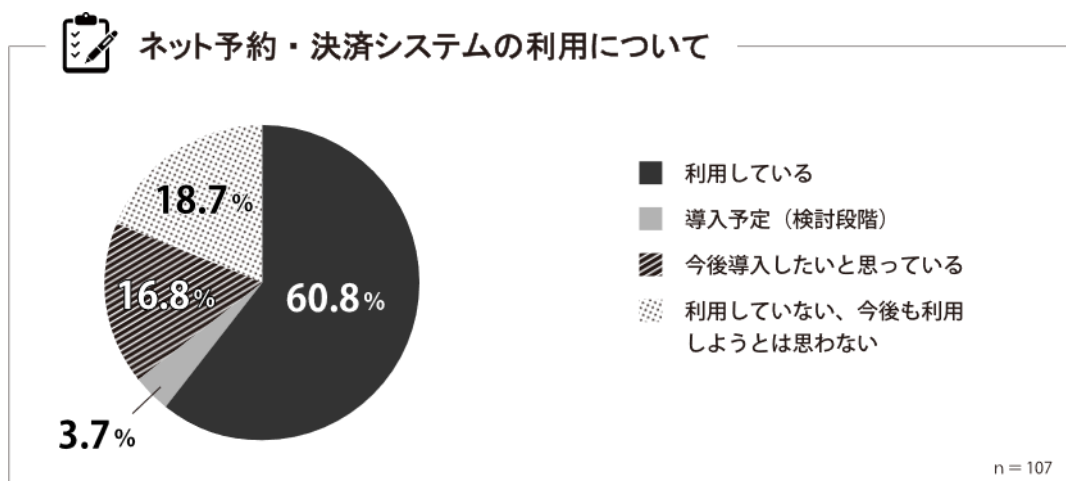
④ 利用料金、人数、期間ともに増加傾向

利用料金の中心は3万円～7万円未満のゾーンで、全体的に前回調査よりも金額が上がっています。利用人数、利用期間も前回調査より増加していました。コロナが収束して、低コスト・少人数・短期間の利用傾向に変化が生じています。



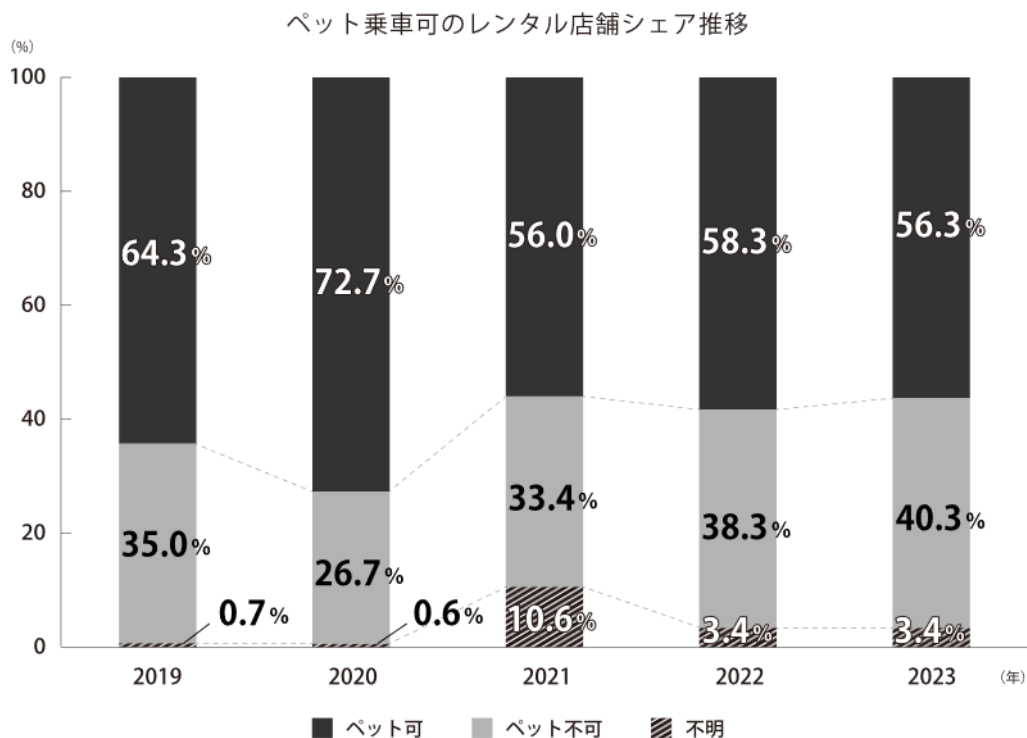
⑤ ネット予約・決済システムの利用率が増加

前回調査よりもネット予約・決済システム導入店舗、の割合が増加しています。「利用予定（検討段階）」「今後利用したいと思っている」を合わせると全体の約8割にのぼり、利用客のニーズにこたえる店舗が増えていることが分かります。また、インバウンドの増加も利用率増加に寄与していると考えられます。



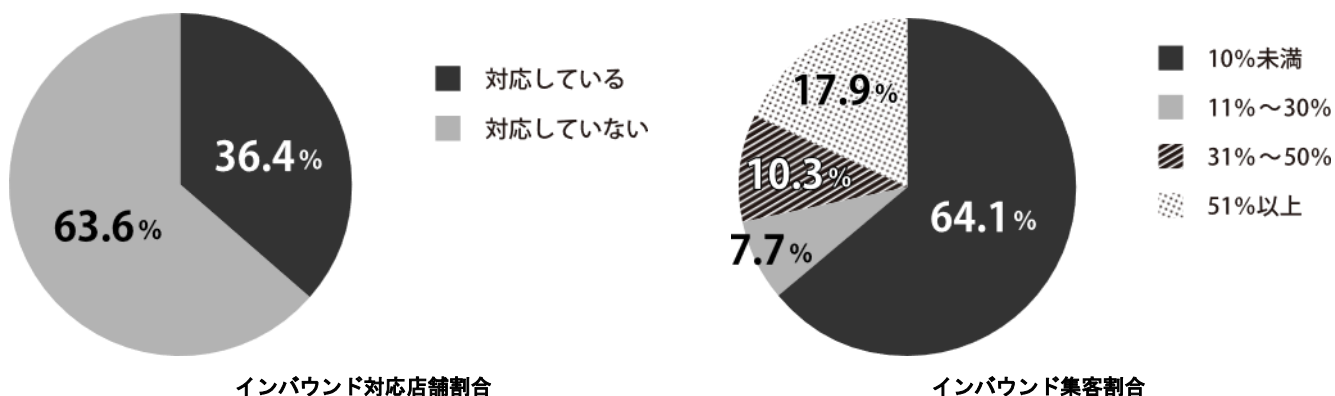
⑥ ペット乗車可の車両保有店舗割合は全体の約半数

ペット乗車可の車両保有店舗数は、直近3年間50%後半で推移しています。車内清掃、アレルギー対策などのオペレーションコストを考え、ペット乗車不可とする店舗も40%前後の割合でした。また、ペットの無断乗車に対して高額なペナルティーを設定している店舗も多くありました。



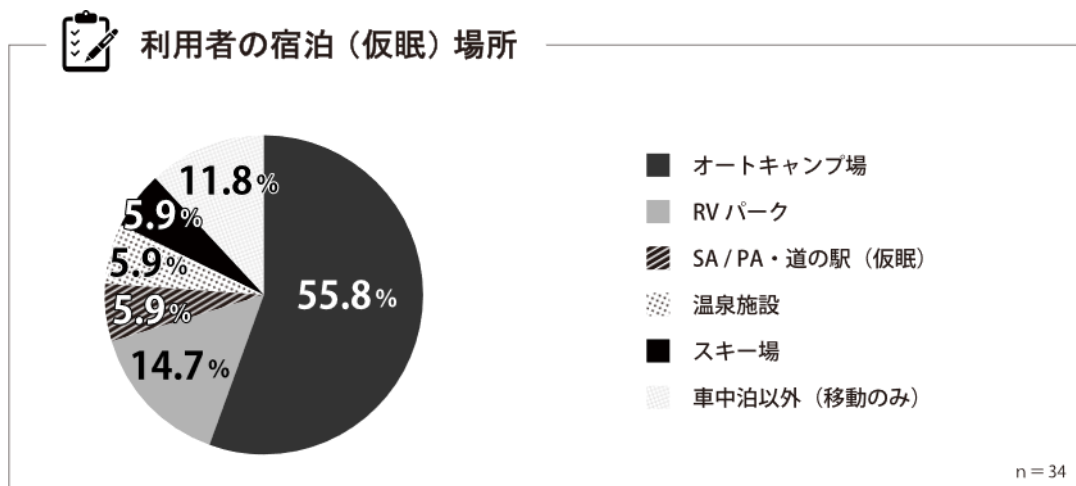
⑦ インバウンドの集客割合が激増

コロナ収束後、入国規制の解除と5類感染症への移行に伴い、インバウンドが急激に増えたことで、レンタルキャンピングカーを利用する割合が大きく増えています。一方で、多言語対応などインバウンドの受け入れ態勢を整えられる店舗が少なく、インバウンド対応店舗の割合は前回調査より減少しています。この結果から、インバウンド対応ができていない店舗に需要が集中していることが分かります。



⑧ 車中泊(仮眠)場所が多様化、選択肢が広がっている

レンタルユーザーが選択する宿泊（仮眠）場所について、前回調査では86.7%が「オートキャンプ場」と答えていたのですが、今回の調査では55.5%にとどまり、「温泉施設」「スキー場」など選択肢が広がっていることが分かりました。また、レンタルキャンピングカーを宿泊に使用しない、移動のみというユーザーも一定数いることが分かりました。



その他詳細データ、キャンピングカーレンタル関連事業の動き、業界の課題と展望について「レンタルキャンピングカー白書 2024 ～事業者の現状と市場動向～」(全 78 ページ モノクロ 定価 5,000 円税込)にて紹介しています。

【紹介ページ】

レンタルキャンピングカー白書（レンタルキャンピングカーネット）

<https://rental-camper.jp/whitepaper/>

このお知らせに関するお問い合わせは、下記までご連絡願います。

〒150-0012

東京都渋谷区広尾 1-9-16 ITO 広尾ビル 4F

TEL. 03-5421-2171 FAX. 03-5421-2179

Mail. car@rental-camper.jp

アイビル株式会社 レンタルキャンピングカーネット事務局

「レンタルキャンピングカー白書 2024」編集担当（滝口）まで